

評価項目	評価指標	具体的方策	評価基準				最終評価				
			4	3	2	1	評価	成果○と課題▲	改善策	委員からのコメント	
確かな学力の育成	各種学力調査で全国平均値を超えることができる。 3年：全国学力学習状況調査 1年,2年：CRT【国社数理英】	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で本校の課題を共有化し、個に寄り添った学習支援をするために、「学習定着週間」や長期休業中の補充学習を行う。 国・数・英3教科の家庭学習ノートの取組を行い、授業で学んだことを繰り返し学習させたり、振り返りを行わせたりしていく。 各種テストにおいて、生徒実態を把握し、PDCAを行い授業改善につなげる。 	全国平均を上回る教科の割合	80%以上	60%以上	40%以上	40%以下	3	※全国学力・学習状況調査の結果 国語75% (+6) 数学57% (+5.6) 理科52% (+2.7) ※標準学力調査の結果 1年 国語64.8(+5.8) 社会57.5(▼3.4) 数学53.0(+3.5) 理科(+1.6) 英語55.5(+4.1) 2年 国語67.0(▼1.5) 社会51.2(+1.2) 数学47.4(▼3.1) 理科48.9(+0.1) 英語48.1(▼6.1) ○全13科目中全国平均を上回ったものは9科目であった。(69.2%) ●2年生は5科目中3科目が全国平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 各学力調査の結果を細かく分析し、生徒の弱点を把握し、各教科担任の授業力向上に努める。 研究部が中心となり、授業力向上に向けた研修を定期的に行っていく。 家庭学習ノートとHR学習の内容をリンクさせ、各教科の弱点補強を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年生の学力に不安を感じる。昨年との比較ができないので、校内で昨年との比較をし、つまづきを解消できるように取り組んでもらいたい。 授業力向上とは、何が一番の阻害要因で、その対策は何でしょうか？そして、家庭学習ノートとHR学習の内容との関係はどんな関係でしょうか？ 平均値はあくまでも目安ですが、一人一人に身につけているかが大切だと思います。ヤングスポットの活躍は素晴らしいです。文章力・理解力・心にも良い影響と今後の活躍に期待します。 様々なきめ細かな取組、指導がなされていると思います。 2年生の学力向上が喫緊の課題。
豊かな心の育成	生徒の自尊感情を高める肯定的な回答を全校で80%以上にする(QUアンケート「みんなのためになることを自分で見つけ実行している」項目)	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる教育活動において、生徒がポジティブに自己を捉えるよう、タイミングの良い肯定的評価を学校、保護者、地域が一体となって行う。 体験活動の意義を説明し、生徒に意欲を持たせる。 	第2回QUアンケートの肯定的回答の割合	80%以上	70%~79%	60%~69%	60%未満	4	肯定的評価の割合 全体80.9% (全国76.3) (1年 83.4 2年 78.7 3年 80.1) ○全学年とも肯定的評価ををする生徒の割合が、全国平均を上回っている。 ▼全国平均は上回ることができているが、昨年度の調査より7.7ポイント肯定的な回答をした生徒の割合が下がっている。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心に生徒発信の様々な行事を仕組み、成功体験を数多く積ませることにより、自尊感情の向上につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ここ数年発信する機会が少なかったが、少しずつではあるが発信する場も増えてくるので、そこに期待しています。 体験活動では目的を達成する方法として地域との交流や問題解決方法を学ぶことが大切ではないでしょうか。 生徒主体の取組等、成果が出ているように思います。 3校合同での活動が少しでもできて良かったです。 いつも「夢だより」を読ませていただき、ありがとうございます。 自分で考え、行動に移すことを実践することにより、ポジティブな評価につながると考えます。
健やかな体	体力テストで、体力項目の80%以上、全国・県平均を上回る	<ul style="list-style-type: none"> 各自目標値を持って取り組ませる。 弱点補強を授業とリンクさせる。 	全国・県平均を上回った項目の割合	80%以上	70%~79%	60%~69%	60%未満	1	<ul style="list-style-type: none"> ●全国・県平均を上回った項目の割合は50%であった。 ●特に男子は、8項目中のうち、50m走以外の項目が全国・県平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中、自己の体力課題に沿った取り組みを行わせる。 委員会活動を利用して、運動習慣の見直しをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の体力向上に期待しています。 学校だけの問題ではないので速く向上することは無理ですが、できるだけ身体を使わずに家庭とも連携してやっていきたいと思います。 運動会の内容を充実させて実行されてはいいでしょうか？ コロナ禍での取組、大変だったと思います。 運動部への部活離れと聞いて、大丈夫なのかととても不安になりました。 運動部の入部員の増加等の施策が必要と考える。
信頼される学校	保護者アンケート項目「子どもの学校の現状について」の満足度が昨年度を上回る。	<ul style="list-style-type: none"> OHPや学校だより等で、学校の取組や、やりきる生徒、関わりきる教職員の姿など、前向きな姿を発信する。 O学校行事や日々の活動について生徒目線での記事を盛り込んだ親しみやすいホームページを20回以上更新する。 	①保護者アンケートの結果(肯定的回答)の割合	すべての学年が昨年度以上	どの学年も昨年度が未満足はなし	昨年度と同じ	昨年度を上回ることができない	1	<ul style="list-style-type: none"> O学校だよりについては毎月発行することができた。 OHPの記事は、1月末時点で30回の更新ができた。 ●11月に実施した海田町学校意識調査の結果の学校の現状についての満足していると回答した割合は79%であった。(昨年度84%) 	<ul style="list-style-type: none"> HPや学校だより等を通じて学校の取組や生徒の様子を引き続き発信していく。 今年度学校の現状についての満足度が下がった主な要因は、教職員のコロナ感染による出勤停止や病欠による授業の遅れである。また、保護者と教職員との間で信頼関係の構築が図れていないものがあることも要因と考えられる。 時間外勤務時間の削減に努めるとともに、それぞれの教職員の心と体の健康増進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への定期的な情報発信は今後も継続して行ってください。 教師の自宅待機等、現状の教員数では対応できないこともありますが、教育委員会・海中とも連携して授業の確保を行えることができればと思います。 教職員の時間が勤務時間の削減は素晴らしいことだと思います。保護者と教職員との信頼関係が図れていないことについては、その要因分析と対策が必要ではないでしょうか？ コロナ以前の保護者とのコミュニケーションが早くできるようになり、学校へ来て見ていただき、生徒たちを共に育てる目標を共有し、育むことができればと思います。
	教職員アンケート項目「生徒と向き合う時間が確保できている」の割合を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> O今年度、組織の見直しを行い、業務の効率化をめざす。 O週1回の定時退庁日を設ける。 	教職員アンケートの肯定的回答の割合	80%以上	79%~60%	59%~50%	50%未満	2	<ul style="list-style-type: none"> O2月末の段階で、教職員の月毎の時間外勤務時間が5時間程度削減されている。 ●「生徒と向き合う時間が確保できている」と肯定的な回答をした教職員は58.3%であり、昨年度(61.1%)より少し下がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の努力は保護者にも理解されているはずですが、町教委と連携し、自習時間の減少が最大の問題で有り、今後もこのような状況があるかもしれないので、具体的な施策が必要である。 	